



「前回の伐倒指導の体験を活かして」 山地秀司(5班)

午前は恵木さんと私で6名の生徒に直径15cmのヒノキをノコを使って交代交代に切らせて、受け口、追口を作り、ロープで引き倒す作業を指導しました。ノコを使うのが初めてで、楽しいのか、我先に自分がやると一生懸命でしたが、いざやると、水平を保ちながら切るのが難しく、斜め切りはなかなか切れなくやけを起こす子もいましたが、何とか切込みが出来ました。前回、尾長天満宮の時にツルを伐りすぎて、伐る途中でメキメキと音がしてロープを引く前に倒れたので、今回は多めの4cm位残して、今子供たち4人に引かせてもまだ倒れないだろうと思いつつ引かせましたがメキメキと音がして倒れました。細くて高さがある木はツルを多めに残す必要

があると改めて体得しました。その後みんなで枝払いをし棚積みにして、幹は1.2mを3本玉切りにして持ち帰りました。午後からは持ち帰

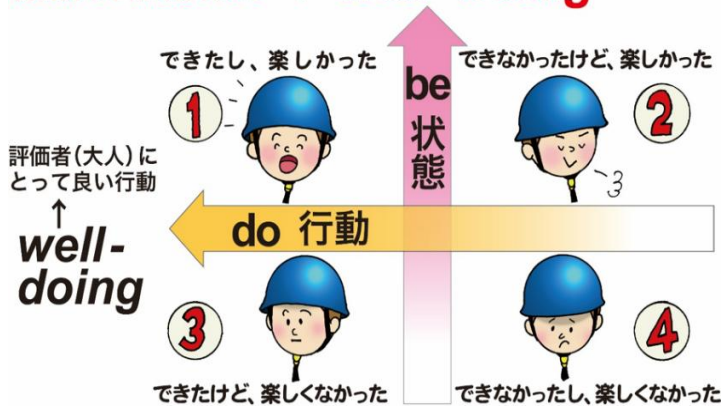


った木をノコでスライスにしてその板の上に箱庭を作ったのですが、生木なので水分が多くボンドが乾かずもどかしくそうでしたが、作ることに集中して怪我もなく楽しんでいたので良かったと思います。



短期的のみならず将来にわたる
持続的な幸福を含むもの

well-being



「私は無力だったなあ」帰ってから考えた。ちょうどその数日後、子どもの学びと遊びの支援について勉強する機会がありその時に出会った図解で視界が開けた。目指すは「well-being」。今この時よりもその先を思ってどう行動するか。難しいが前より楽しい気持ちで考えているところだ。

「はなのわマルシェ」報告

5月24、25日の土日の両日、ひろしまゲートパークで、広島市主催の「はなのわマルシェ」があり、もりメイト倶楽部は、スタッフ6名が24日(土)に参加し、「間伐材を使ったワークショップ」を行いました。当日は、花と緑・ワークショップ・グルメ併せて70の出店があり、天気も良く来客が望めると思いましたが、小・中の運動会が重なり、14時からサンフレッチェ広島×名古屋グランパスエイトの試合、体育館では夜から「ゆず」のアコースティックコンサートと行きかう人は多いのですが、思うよう来客に繋がりません。それでも33名の方々にワークショップにご参加いただき、参加者と楽しい時間を共有できました。 記：岩田

